

本日、王子キャンパス、西川祐司先生による公務員試験対策講座のオンライン授業を見学させていただきました。今回の授業は「判断推理」というテーマで、図形をいろいろ操作したときにどうなるかということ推理する、という問題を解く際の考え方を指導する授業内容でした。平面に描かれた図形を思考・推理力を働かせて、どのようになるか判断することは、ただ知識を覚えることとはまた違い、難しさも感じました。

本日の授業は、西川先生が共有の画面を使って、書き込みながら説明するという方法で、工程を1つ1つ丁寧に説明し、設問が終わるごとに学生に理解できたかどうか確認する、という流れの授業形態で進められました。中島総長先生から「学生が理解できたか聞いてみるように」という指導が繰り返しあり、やはり「学生の理解」を確認することが、本校のメソッドにおいては最も大事なところなのだと言葉を確認できました。一通り考え方を確認した後、確実に理解できたかどうかは類似問題を解いてみることで確認されていました。じっくり問題に取り組み、考え方を確認、さらに総長先生からはもう一度学生に復習させるように、という指示もあり、とことん学生に考え方を覚えこませることが繰り返しなされていました。

今回特に感じたのは、画面を共有して、書き込みをしながら説明をすることで、より説明が伝わりやすいということです。特に今回の問題のような、考え方をじっくり理解しないと難しい問題では、口頭だけの説明ではとても理解することは難しいと感じました。自分の授業の中でもできるだけ視覚的に理解できるようにと考えていましたが、このような方法は、特に現状のような対面での授業が難しい場合には有効だと思いました。こういった方法を使いこなすことも教員のスキルとしては必要なことだと痛感しました。

じっくり時間を取って学生に覚えてもらうこと、教員は学生が確実に理解できたか確認すること。この2つの重要性を改めて確認させていただくとともに、多様なスキルを使いこなすことの重要性も感じさせていただいた授業でした。ありがとうございました。